

※2015年4月改訂(第9版 包装追加に伴う改訂)

※2008年6月改訂

貯法：室温保存

使用期限：表示の使用期限内に使用すること。

(使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用すること。)

承認番号	22000AMX01500
薬価収載	2008年6月
販売開始	1955年8月
再評価結果	2004年9月

# ※アクロマイシン<sup>®</sup>軟膏3%

Achromycin<sup>®</sup> Ointment

テトラサイクリン塩酸塩軟膏(略号：TC)

## 【禁忌(次の患者には使用しないこと)】

テトラサイクリン系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者

## ※【組成・性状】

販売名	アクロマイシン軟膏3%
成分・含量 (1g中)	テトラサイクリン塩酸塩 30mg(力価)
添加物	精製ラノリン、白色ワセリン、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸メチル
色・性状	黄色の軟膏剤

## 【効能・効果】

### 〈適応菌種〉

テトラサイクリンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロピデンシア属

### 〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染

## 【用法・用量】

通常、症状により適量を1日1～数回、直接患部に塗布または無菌ガーゼにのぼして貼付する。

### 〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最少限の期間の使用にとどめること。

## 【使用上の注意】

### 1. 重要な基本的注意

感作されるおそれがあるので、観察を十分に行い、感作されたことを示す兆候(痒痒、発赤、腫脹、丘疹、小水疱等)があらわれた場合には使用を中止すること。

### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

以下のような副作用があらわれた場合には、使用を中止すること。

	頻度不明
過敏症	発疹

### 3. 適用上の注意

#### 使用部位

眼科用に使用しないこと。

## 【薬効薬理】

### 作用機序<sup>1)</sup>

細菌の蛋白合成系において、aminoacyl t-RNAがm-RNA・リボゾーム複合物と結合するのを妨げ、蛋白合成を阻止させることにより抗菌作用を発揮する。また、本剤は動物のリボゾームには作用せず、細菌のリボゾームの30Sサブユニットに特異的に作用することから、選択毒性を有すると報告されている。

## 【有効成分に関する理化学的知見】

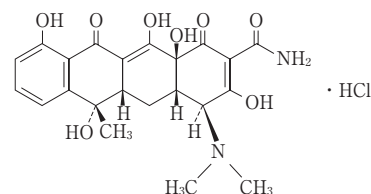
一般名：テトラサイクリン塩酸塩

(Tetracycline Hydrochloride) [JAN]

略号：TC

化学名：(4S,4aS,5aS,6S,12aS)-4-Dimethylamino-3,6,10,12,12a-pentahydroxy-6-methyl-1,11-dioxo-1,4,4a,5,5a,6,11,12a-octahydro-tetracene-2-carboxamide monohydrochloride

構造式：



分子式：C<sub>22</sub>H<sub>24</sub>N<sub>2</sub>O<sub>8</sub>・HCl

分子量：480.90

性状：本品は、黄色の結晶又は結晶性の粉末である。本品は、水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくい。

## ※※【包装】

〔チューブ〕(3%) 5g×1本、5g×10本、  
25g×1本

〔 瓶 〕(3%) 500g

## 【主要文献】

1) Weisblum, B., et al. : Bact. Rev., 32 : 493 (1968)

## 【文献請求先】

株式会社ポーラファルマ 学術  
〒141-0031 東京都品川区西五反田8-9-5  
TEL 03-5436-2725  
FAX 03-5496-9718